

# Uターン路の設置により、交差点やオフランプの事故危険が減少

- ・ 国道49号鶯ノ子ICは、付近の大型ショッピングセンターなどにアクセスする車両が交差点で右折Uターンしています。Uターンに伴い、導流島に衝突するなどの物損事故が多数発生。
- ・ この状況を踏まえ、**高架橋の桁下空間を有効利用し、Uターン路を新設する対策を実施。**
- ・ 対策後の道路利用者アンケートでは、交差点やオフランプの事故危険が減少したと評価された。

## 事業箇所と対策内容



位置図



図. 鶯ノ子ICと大型ショッピングセンターの位置関係

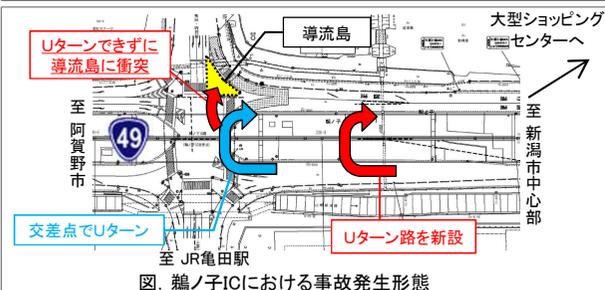


図. 鶯ノ子ICにおける事故発生形態

- Uターン路を設置して、交差点手前でUターンを可能にし、交差点でのUターンに伴う「右直事故」や「物損事故」などの対策を実施。

### 対策前



至 新潟市中心部

### 対策後



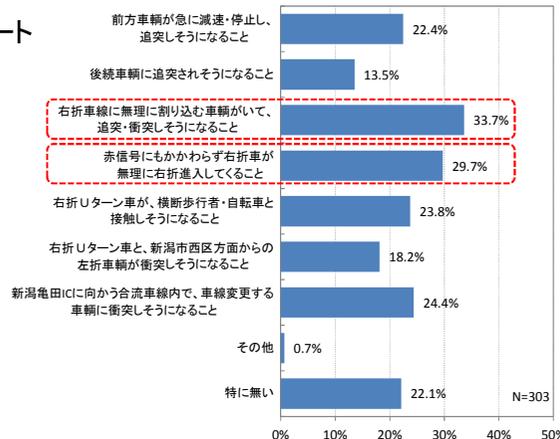
## 整備効果

※対策前：2012年11月4日(日)、対策後：2012年11月25日(日) いずれも10時台～14時台を対象に集計・分析

### 交差点やオフランプでの事故危険が減少！

対策後に行った道路利用者アンケート「対策後に減ったと感じる事故危険内容について(N=303)」では、

- 交差点での「赤信号にもかかわらず右折車が無理に右折進入してくることに約30%の回答があった。
- オフランプでの「右折車線に無理に割り込む車両がいて、追突・衝突しそうになることに約34%の回答があった。



### 【混雑緩和】Uターン路の設置により滞留長が減少！

#### 【滞留長の変化】

- 対策により上り線オフランプの混雑が緩和され、滞留長が減少。
- 特に最大滞留長は、250m減少。

